

## 金沢国際がん生物学シンポジウム

International Symposium on Tumor Biology in Kanazawa2021 を開催しました

2021年11月26日

本研究所では、毎年、国内外のがん研究者ネットワークを拡大、深化させる目的で、国際シンポジウムを開催しています。本年は11月26日に「Stem Cell, Embryogenesis and Development」と「Cellular Functions and Tumor Biology」に関する2つのセッションを設け、本研究所の若手独立研究者3名とともに、それぞれの分野で著名な業績を挙げている欧州の研究者3名をお招きし、ご講演いただきました。今回は、できるだけ活気・熱意の感じられるシンポジウムにしたいという松本所長の意図の下、新型コロナウイルス感染症予防に十分に留意しつつも「対面」を重視したセッティングとしました。一方で、海外も含め、できるだけ多くの所外の方にも参加していただけるよう、オンサイト・オンライン併用ハイブリッド形式として開催することとしました。結果として、会場での熱のこもった雰囲気を感じつつも、遠隔の海外演者とリアルタイムで自由にディスカッションできる理想的な状況を作ることができました。参加者145名（現地57名、オンライン88名）と、多くの方にご参加いただき、大変盛況なシンポジウムとなりました。



開会の挨拶：和田隆志 理事

セッションIでは、デンマーク・コペンハーゲン大学・Kim Jensen 博士から、「腸管幹細胞を主題として胎生期幹細胞と成体幹細胞の関係性や傷害を受けた時の再生過程における脱分化」について、本学ナノ生命科学研究所（がん進展制御研究所併任）・宮成悠介博士からは、「新しい技術を用いたクロマチン制御分子の探索」について、ドイツ・Ludwig-Maximilians 大学（ミュンヘン）・Maria-Elena Torres-Padilla 博士には、「初期発生過程におけるエピジェネティクス制御による可塑性・万能性」について、それぞれ最新のデータを発表いただきました。いずれも、スケールの大きいダイナミックな解析手法を用いた研究で大変エキサイティングな内容でした。



座長: 上野将也先生 (左) 大島正伸先生 (右)



Kim Jensen 博士



宮成悠介 博士



Maria-Elena Torres-Padilla 博士

セッション II では、本学新学術創成研究機構がん進展制御コア・笠原敦子博士からは、「ミトコンドリア分裂・融合制御による幹細胞分化・がん細胞治療耐性」について、本学がん進展制御研究所・平田英周博士には、「がんの脳転移の微小環境を解析する新たなシステムの構築」について、最後に、英国・Francis Crick 研究所・Erik Sahai 博士には、「乳がん細胞の肺転移機構の分子動態、特に Dormancy に関する新知見」について発表いただきました。いずれも、がん特有の動態制御機構の解明に迫る成果であり、素晴らしい講演でした。



座長: 今村龍先生 (左) 高橋智聡先生 (右)



笠原敦子 博士



平田英周 博士



Erik Sahai 博士

全体として、世界的に活躍されている研究者の最先端の研究に直に触れる貴重な機会となりました。一方、本学の3名の若手研究者から独創的な研究内容の発表があったことも大変印象的であり、それぞれ「独自の世界観」で研究を展開していることが聴衆にも十分に伝わるファンタスティックなプレゼンテーションで、参加した学生や他の教員にもよい刺激となりました。今後、本学の次世代の研究推進に大いに貢献することを予感させるシンポジウムとなりました。また、すべての発表に対して大変多くの質問があり、濃厚なディスカッションができました。その分、終了時間が大幅に超過してしまい関係の方には大変ご迷惑をおかけしましたが、参加者の皆さんにとっては、サイエンスを楽しむハッピーな時間を長く共有できた点が大変よかったと思います。

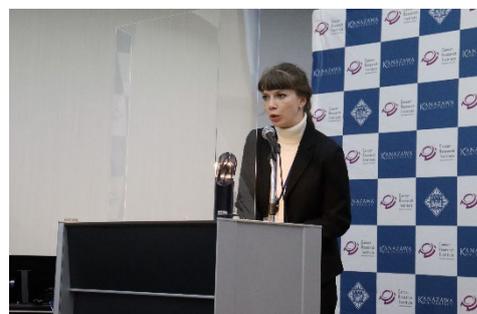


質疑応答の様子

最後に、シンポジウム開催にご尽力いただいた方に心よりお礼を申し上げます。和田隆志理事には、開会にあたり格調高いご挨拶をいただきました。大島正伸先生、高橋智聡先生、上野将也先生、今村龍先生には、座長としてセッションを盛り上げるのに大いに貢献いただきました。研究協力係をはじめとした薬学・がん研支援課の皆さんには、夜遅くまで、しかもハイブリッドという難しいオペレーションもかかわらず、完璧にこなしていただき、シンポジウム成功に貢献いただきました。特に、研究協力係に勤務されているロシア出身のガブリロワ・アナスタシアさんには、英語での司会進行役に挑戦いただき、豊かな国際色を感じさせるシンポジウムとなりました。村上和弘先生、平田英周先生、宮成悠介先生、遠藤良夫先生には、プログラム編成や海外演者との調整等、組織委員としてご尽力いただきました。そのほか、ご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。



閉会あいさつ：松本邦夫 所長



司会進行：ガブリロワ・アナスタシアさん

(文責：International Symposium on Tumor Biology in Kanazawa2021 組織委員会 平尾敦)

# International Symposium

## on Tumor Biology in Kanazawa 2021

17:00-17:10 *Opening Remarks*

**Takashi Wada**

Vice President, Kanazawa University

17:10-18:35 *Session I : Stem cell, embryogenesis and development*

**Kim Jensen**

Biotech Research & Innovation Centre & Novo Nordisk Foundation Center  
for Stem Cell Biology, University of Copenhagen, Denmark

*Intestinal stem cells in development and disease*

**Yusuke Miyanari**

WPI-Nano Life Science Institute, Kanazawa University

*Dissecting molecular mechanisms to regulate chromatin structure*

**Maria Elena Torres-Padilla**

IES, Helmholtz Zentrum, Munich, Germany

*Epigenetic mechanisms of cellular plasticity*

BREAK

18:50-20:10 *Session II : Cellular functions and tumor biology*

**Atsuko Kasahara**

Institute for Frontier Science Initiative (InFiniti), Kanazawa University

*Mitochondrial dynamics: a new therapeutic target to beat  
malignant tumour cells*

**Eishu Hirata**

Cancer Research Institute, Kanazawa University

*Multifaceted interactions between cancer cells and glial cells  
in brain metastasis*

**Erik Sahai**

The Francis Crick Institute, UK

*Uncovering how epithelial cell dynamics shape tumour evolution*

20:10-20:20 *Closing Remarks*

**Kunio Matsumoto**

Director, Cancer Research Institute, Kanazawa University

**HYBRID CONFERENCE**

ONLINE (Zoom Webinar)

ON-SITE (NanoLSI Main Conference Room)

**Nov. 26,  
2021**



Registration site

<https://gakkai-gran.jp/istbk2021/>



**Pre-registration Required !**

*Organized by*

Cancer Research Institute of Kanazawa University,  
Kanazawa Association of Tumor Biologists

*Co-organized by*

WPI-Nano Life Science Institute (Nano LSI),  
Institute for Frontier Science Initiative (InFiniti),  
Hokushin Cancer Educational Program for  
Advanced Professional Oncologists

**Secretariat**

Kakuma-machi, Kanazawa, Japan  
Kanazawa University Cancer Research Institute

Tel : 076-264-6702 Fax : 076-234-4527

E-mail : [y-kenkyo@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:y-kenkyo@adm.kanazawa-u.ac.jp)

URL : <http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>